

2020年度（第42期）

事業報告

自：2020年（令和2年）4月 1日

至：2021年（令和3年）3月31日



〒621-0027

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 平芳 一法

公益財団法人 関西盲導犬協会 2020年度（第42期）事業報告書
 （2020年4月1日－2021年3月31日）

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬貸与計画

①-1 貸与頭数

2020年度は計画通り「10頭」の盲導犬を育成し、10名の視覚障がい者に貸与した。

NO.	代替/新規	年齢	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日
7425	代替	60代	広島県	アレックス	LR	♂	4月1日
7426	代替	40代	兵庫県	パール	LR	♀	6月30日
7427	代替	30代	三重県	アストル	LR	♂	7月14日
7428	代替	40代	兵庫県	ドイツ	LR	♂	7月16日
7429	代替	40代	岡山県	ドルチェ	LR	♂	8月21日
7430	代替	60代	千葉県	フルール	F1	♀	10月15日
7431	代替	60代	奈良県	ヘリオ	LR	♂	11月11日
7432	代替	50代	京都府	ハーバー	LR	♀	12月29日
7433	代替	20代	奈良県	フーゴ	LR	♀	1月25日
7434	代替	50代	広島県	フィン	LR	♂	3月11日

（犬種：LR：ラブラドル、GR：ゴールデン、F1：ラブ×ゴールデン）

①-2 盲導犬実働数ならびにユーザー数（2020年度末）

- ・盲導犬実働数 60頭（前年度比-4）
- ・盲導犬ユーザー数63人（前年度比-4）
- ・夫婦で1頭の盲導犬を使用する「タンデム」ユニットが現在3組。

②新規希望者への働きかけ

- ・新型コロナ感染予防対策のため体験歩行会等のイベントを通しての新規希望者の開拓はできなかったが、個別の問い合わせ者には感染予防対策をして体験歩行を実施し申込者の確保に努めた。
- ・待機者に対する体験的な共同訓練の実施は見合わせた。

(2) 盲導犬ユーザーへのケア（フォローアップ）

①フォローアップの実施

新型コロナの感染状況を見ながら、感染予防対策をしたうえで盲導犬ユーザーへのフォローアップを実施した。定期フォローアップについては、感染予防対策として直接訪問できなかったユーザーには電話による状況確認を行うなどして、全てのユーザーに対して実施した。

- ・実施総数153件（前年度実績211件）
 - 定期 36件
 - 共同訓練直後 10件
 - ファミリーセッション 17件
 - 犬の健康管理 45件（高齢犬の健康診断を含む）
 - 犬の問題行動 14件
 - その他 31件

②盲導犬の医療費助成

盲導犬ユーザーに対して、盲導犬のための予防的医療費（狂犬病および混合ワクチン）およびフィラリア予防薬の購入費助成を継続した。

③高齢盲導犬へのケア

引退を控えた9歳齢ならびに10歳齢の盲導犬に対する健康診断を当協会負担で継続実施し、盲導犬の健康状態を把握した。

(3) 犬の育成・ケア

①繁殖犬、パピー、訓練犬の状況

a. 出産ならびに繁殖犬数

- ・ 出産頭数43頭（うち31頭をパピーウォーカーに委託、他の12頭は次年度委託予定）
- ・ 繁殖犬数22頭（2020年度末、オス9頭／メス13頭）

b. パピーウォーキング

- ・ 委託頭数31頭
- ・ 巡回指導187回
- ・ パピースクール35回
- ・ 新型コロナ感染予防対策として、パピー委託式ならびに修了式、パピースクールは1回の頭数や参加者数を制限して実施した。

c. 訓練犬

- ・ 前年度からの在籍犬12頭に加え今年度34頭、計46頭に対し訓練を実施した。

②国内外の協力先との連携

- ・ A G B N (Asian Guidedog Breeding Network) のオンライン会議に出席した。（2020年12月）
- ・ 国内協会からパピー4頭を譲り受けた。
- ・ 国外団体へ成犬（前年度の出生犬）1頭、凍結精液3頭分を譲渡した。
- ・ 国外2団体と凍結精液各3頭分の交換をした。

③凍結精液の利用

凍結精液による人工授精を1回実施したが不受胎であった。

④他協会からの繁殖犬あるいは訓練犬の導入

国内協会から繁殖犬1頭を次年度譲り受ける予定である。

⑤リタイア犬への医療費補助

混合ワクチン接種費用を除いた医療費、療法食ならびに火葬費の助成を継続実施した。
（助成額3,132,697円 前年度比1,365,040円減）

⑥獣医師会との連携

公益社団法人京都市獣医師会と連携し、協会所有犬に対する診療、検査を継続実施した。
（12回）

⑦夏季の訓練体制

共同訓練が具体化している犬などを除き、訓練犬をボランティア宅に預ける等、訓練犬頭数を抑制することで、犬と訓練士の暑さ対策を実施した。

(4) 訓練部職員のスキルアップ

①認定NPO法人全国盲導犬施設連合会の主催セミナー

新型コロナ感染予防対策のためリモート開催となった第6回盲導犬育成ジャパンセミナーに訓練関係職員を参加させた。（2021年2月7日）

②訓練士の資格取得

訓練研修中の3名の職員に対する盲導犬訓練士資格取得プログラムを継続し、うち1名が認定NPO法人全国盲導犬施設連合会の盲導犬訓練士資格を取得した。

③国外団体への職員派遣

新型コロナ感染予防対策のため、本年度の実施は見送った。

④国際盲導犬連盟主催セミナー等への職員派遣

国際盲導犬連盟主催のセミナーならびに他のセミナーは新型コロナ感染予防対策のためすべて延期となったため職員の派遣はしていない。

(5) 盲導犬貸与委員会

公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、外部委員を含めた「盲導犬貸与委員会」の開催を継続した。(中止とした5月を除く、毎月1回、計11回開催)

(6) フレンドッグ事業

①実施状況

高齢者ならびに障がい者施設で実施していたフレンドッグ活動は、新型コロナ感染予防対策のため全て休止となった。

②新規活動

「亀岡市盲導犬ふれあい事業」として、亀岡市の協力により2021年度から亀岡市立保育園・こども園でのフレンドッグ活動を行うこととなった。

③検討委員会の実施

本年度は実施できなかった。

(7) 調査研究

①京都大学大学院文学研究科と「木香テラスの有用性」に関する共同研究を継続した。

②京都芸術大学(京都造形芸術大学から名称変更)ならびに株式会社セイバンの協力を得て、新しいハーネスが完成した。

1-2. 相談事業

(1) 苦情ならびに相談に関する対応

2020年度に受けた苦情ならびに相談の状況は、総数20件であった。例年より件数が少ない理由として、コロナ禍により盲導犬ユーザーの外出機会が減ったことが影響していると考えられる。

①入店、利用拒否および受け入れに関する相談 5件

- ・公共交通機関の利用 2件(解決済み)
- ・施設職員の対応 1件(解決済み)
- ・飲食店での入店拒否 1件(解決済み)
- ・動物園の利用 1件(対応継続中)

②ユーザーへの対応についての相談 3件

- ・冠婚葬祭の場での対応について 2件(情報提供済み)
- ・ユーザー採用に向けた社員研修について 1件(情報提供済み)

③ユーザーの盲導犬への不適切な扱いに関する相談: 4件

- ・夏場の移動 2件(情報提供済み)
- ・盲導犬への虐待、不適切な対応 2件(他協会ユーザーのため全国盲導犬施設連合会を通じて該当協会に連絡済み)

④その他の相談、問い合わせ等 8件

- ・AC ジャパンの広告についての苦情 4件(回答済み)
- ・リタイア犬の処遇についての質問 2件(回答済み)
- ・聴導犬の取得についての質問 1件(回答済み)
- ・啓発ポスターの掲示についての相談 1件(対応済み)

(2) 他機関との連携

①認定NPO法人全国盲導犬施設連合会との連携

認定NPO法人全国盲導犬施設連合会と連携し、盲導犬ユーザーの盲導犬の扱いに関する苦情ならびに盲導犬受け入れについて解決した事例について、それぞれ行政窓口へ報告した。

1-3. 啓発普及活動

(1) 啓発普及活動

①定例見学会の継続

新型コロナ感染予防対策から開催方法を模索した。なお、本年度から通常開催時には見学料500円を徴収した。

- ・4月から9月まで中止
- ・10月、11月は通常開催（46名参加、前年度比266名減）
- ・12月から3月は、YouTubeを利用したリモート見学会（申込制による限定配信）

②ユーザー主体の啓発普及活動の継続

新型コロナ感染予防対策のため講演ならびに啓発活動は、キャンセルや自粛で大幅に減少した。

a. 講演活動※[]内は、ユーザーによるもの

- ・学校での講演活動：26[21]件（前年度比51[49]件減）
- ・イベントならびに社会奉仕団体等の例会、企業研修等での講演：13[4]件（前年度比36[11]件減）

b. 団体見学：2件19名（前年度比41件減・890名減）

c. 視覚障がい者対象の盲導犬体験歩行会：0件（前年度比9件減）

d. 視覚相談会：5回（京都府家庭支援総合センター主催・京田辺市・峰山町・福知山市・南丹市・精華町）

③機関紙「ハーネス通信」の発行

- ・例年通り4月、7月、10月、1月の計4回発行した。
- ・創立40周年を迎え、40年を振り返る企画を4回にわたって連載した。

④行政ならびに他機関との連携

- ・京都市の動物愛護推進会議に役員を派遣した。
- ・JR西日本管内での駅設備変更などの情報提供を受け、駅を利用するユーザーへの連絡を行った。

⑤ホームページの改定

- ・視認性をアップするためにトップページを一部改定した。
- ・申込問合わせに対応するためのフォームを一部改定した。

⑥啓発事業体制の検討

啓発相談担当職員の退職を見据え、後任者の選定等を含め体制の見直しを検討した。

⑦ソーシャルネットワークを活用した情報発信

新型コロナ感染予防対策の一環としてホームページ、Facebook、Instagram、Twitter、YouTube等、ソーシャルネットワークを積極的に活用した情報発信に努めた。

(2) 協会主催・共催イベント

①「盲導犬 Love's フェスタ」

オープンデーに代わるイベントとして5月31日の開催を計画していた「盲導犬 Love's フェスタ」ならびに「盲導犬貸与報告会」は、新型コロナ感染予防対策のために中止した。

②「偲ぶ会（慰霊の日）」「ボランティアズデー」

- ・偲ぶ会は、新型コロナ感染予防対策のために開催を中止し、当日（10月3日）に職員による献花と黙禱の様子を動画で配信した。また参加予定者には、小冊子とCDを作成し配布した。
- ・毎年11月3日に実施しているボランティアズデーも新型コロナ感染予防対策のために中止した。
- ③京都府の視覚障害者団体との共催イベント
新型コロナ感染予防対策のため「白杖安全デー」はYouTube 配信、「あい・らぶ・ふえあ」はチラシ配布となり、それぞれ制作ならびに配信、配布に協力した。
- ④創立40周年記念写真集を作成し、関係者ならびに協力者に配布し感謝の意を表明した。

2. 管理部門

(1) 収入と支出に関する取り組み

①収入基盤について（2021年3月末日現在）

a. 賛助会員 1,348件（前年度実績1,242件、106件増）

- ・正会員 1,161件（前年度比51件増）
- ・後援会員 38件（前年度比8件増）
- ・法人会員 29件（前年度と同じ）
- ・マンスリー会員 79件（前年度比10件増）
- ・青少年会員 8件（前年度比4件増）
- ・せんえんサポーター 34件（新設）

b. 募金箱

- ・設置件数1,691件（前年度実績1,704件、13件減）
- ・回収金額9,500,326円（前年度実績10,540,043円）

c. 街頭募金

- ・実施回数35回（前年度実績82回）
- ・募金金額合計2,108,921円（前年度実績6,743,918円）
- ・新型コロナの緊急事態宣言発令中の実施を見合わせた。

d. 収支改善にむけた取り組み

- ・協会所有犬に対する医療費の確保を目指し、インターネットを通じたクラウドファンディングを実施し1,500万円の寄付を募った。
- ・収支改善策の一環として、パピーウォーカーに対してフード費用に相当する協力費の負担をお願いした。
- ・インターネットを通じて、犬の飼育ならびに衛生管理に必要な物品寄贈をお願いし、多くの物品に対して協力を得た。

(2) 労働環境の整備

経理担当職員の退職を見据え、その後任となる職員1名を新たに採用した。

3. 施設整備ならびに備品購入等

旧犬舎の施設整備や隣接地活用の検討は進展しなかった。